



平成 29 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 青 山 商 事 株 式 会 社

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 青 山 理
兼 執 行 役 員 社 長

(コード番号 8219 東証第一部)

問 合 せ 先 取 締 役 副 社 長 宮 武 真 人
兼 執 行 役 員 副 社 長

(TEL 084-920-0050)

特別損失の計上（個別）に伴う個別及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期の個別業績において、連結子会社である株式会社イーグルリテイリングの業績不振に起因する特別損失として、関係会社株式評価損及び貸倒引当金を計上することといたしました。これに伴い、平成 29 年 2 月 7 日に公表した通期の個別及び連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

平成 29 年 3 月期の個別業績において、下記の特別損失を計上することといたしました。

	金額	発生事由
(1) 関係会社株式評価損	89 百万円	(株)イーグルリテイリング株式の減損
(2) 貸倒引当金	3,721 百万円	(株)イーグルリテイリングへの貸付金に係る貸倒引当

2. 業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期通期個別業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	192,300	20,000	20,550	12,300	235 円 13 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	189,650	18,711	19,798	8,665	164 円 84 銭
増 減 額 (B - A)	2,649	1,288	751	3,634	
増 減 率 (%)	1.4	6.4	3.7	29.6	
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 28 年 3 月期)	189,700	19,196	20,087	11,513	211 円 52 銭

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	255,000	22,000	22,200	11,500	219 円 84 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	252,777	20,210	21,084	11,568	220 円 6 銭
増 減 額 (B - A)	2,222	1,789	1,115	68	
増 減 率 (%)	0.9	8.1	5.0	0.6	
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 28 年 3 月期)	240,224	21,336	21,639	11,869	218 円 6 銭

3. 修正の理由

(1) 特別損失の計上について

当社 90%出資の子会社である株式会社イーグルリテイリングの業績は、円安に伴う値上げ影響等による客数減やファストファッション全体の冷え込み等により、売上高は計画に対し大きく下回り、加えて次年度の黒字化に向けて過剰在庫の処分を実施したことなどから、営業利益についても計画を大きく下回りました。

この状況を踏まえ、当社では監査法人と協議の上、平成 29 年 3 月期個別業績において、株式会社イーグルリテイリング株式 89 百万円を関係会社株式評価損に、また、株式会社イーグルリテイリングへの貸付金に係る貸倒引当金として 3,721 百万円を計上することといたしました。

(2) 業績予想の修正について

個別業績

売上高は、主力でありますビジネスウェア事業の既存店売上高が前期比 99.1%と計画を下回って推移したことなどから前回予想を下回る見込みであり、当期純利益につきましては、上記イーグルリテイリングの株式評価損、貸倒引当金を特別損失に計上したことなどから、前回予想を下回る見込みであります。

連結業績

上記ビジネスウェア事業及び株式会社イーグルリテイリングを含むカジュアル事業の業績が計画を下回る見込みであることなどから、売上高、営業利益、経常利益は、前回予想を下回る見込みであります。なお、上記関係会社株式評価損及び貸倒引当金については、連結決算上相殺消去されます。

<今後の予定について>

株式会社イーグルリテイリングについては、平成 24 年 4 月に「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」1 号店を開店して以来着実な出店を続け、平成 29 年 3 月末で 34 店舗となりました。日本におけるブランド力の発揮は相応に認められるものの、市況はアゲインストの中、セールスの乱発や前述の在庫処分等による粗利率低下等もあり、計画から大幅な下方修正を余儀なくされました。

今後は現在進めている再建策を着実に実行に移し、次年度における業績の回復を目指してまいります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上